原子力で働くという選択

設備を守る仕事から、未来を支える仕事へ

第4部　私と原子力の関わり

下村 修潤（しもむら なおひろ）
日本原子力発電株式会社
敦賀発電所 保修室 機械グループ
主任

つるが国際シンポジウム2026

原子力を学び、敦賀で設備保全に向き合う



下村 修潤

しもむら なおひろ

敦賀発電所 保修室｜機械グループ 主任

- 2017　福井大学大学院原子力安全工学専攻 修了
- 2017　日本原子力発電 入社
- 2023　敦賀発電所　保修室　機械グループ 副主任
- 2026　敦賀発電所　保修室　機械グループ 主任

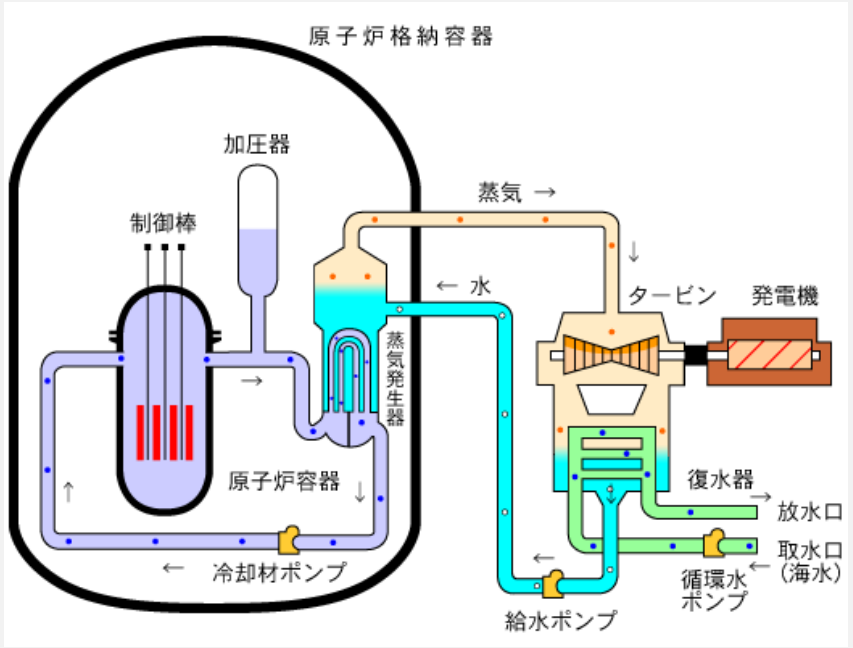
機械設備の保守管理と改良工事を、計画から推進まで担う

保修室の業務について

発電所は、原子炉、タービン発電機などの大型機器から、建物の照明などの小物に至るまで、何万点にも及ぶ非常に多くの機器から構成されています。

保修室では、それらを構成する機器の性能を保つために計画的に分解点検や機能確認、設備の改造および取替えなどに必要な予算確保、工事計画、機器点検計画、改造・取替え工事における設備設計および作業監理など、発電所を常時最良の状態に維持するための「保全」業務を行っています。

2号機(加圧水型軽水炉)



「保全業務」のPDCAサイクル

Plan
保全の計画
工事計画・予算・発注

→

Do
保全の実施
準備・現場管理・安全確保

→

Check
結果の確認
工事記録・報告書の確認

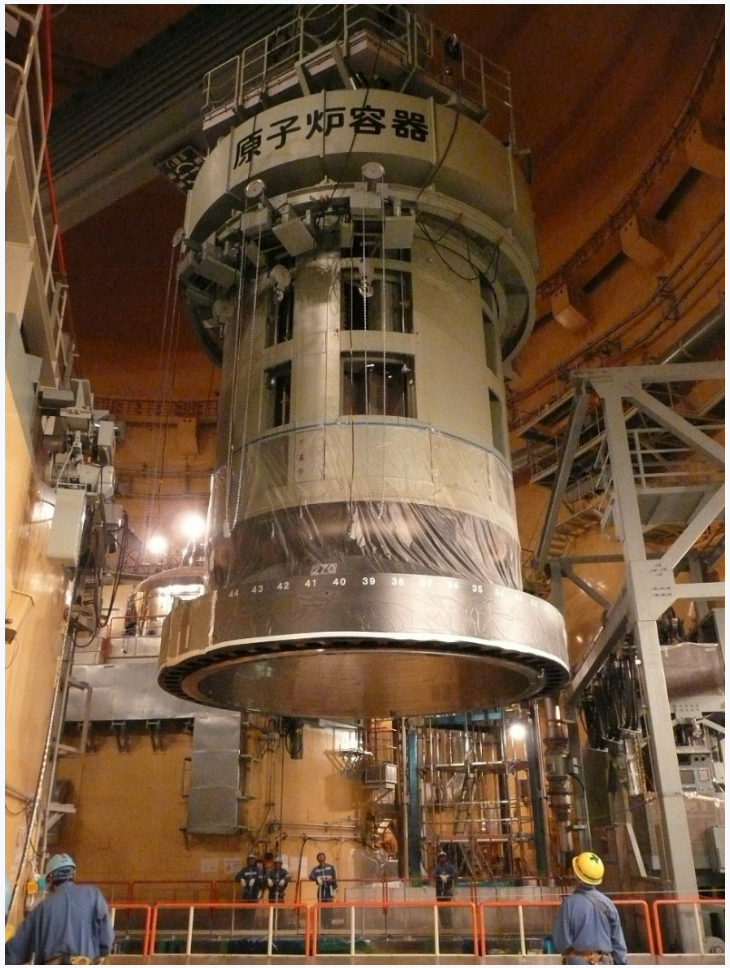
→

Action
次の保全へ反映
結果を評価し、計画を見直す

保修室（機械グループ）が実施した大型工事の実例

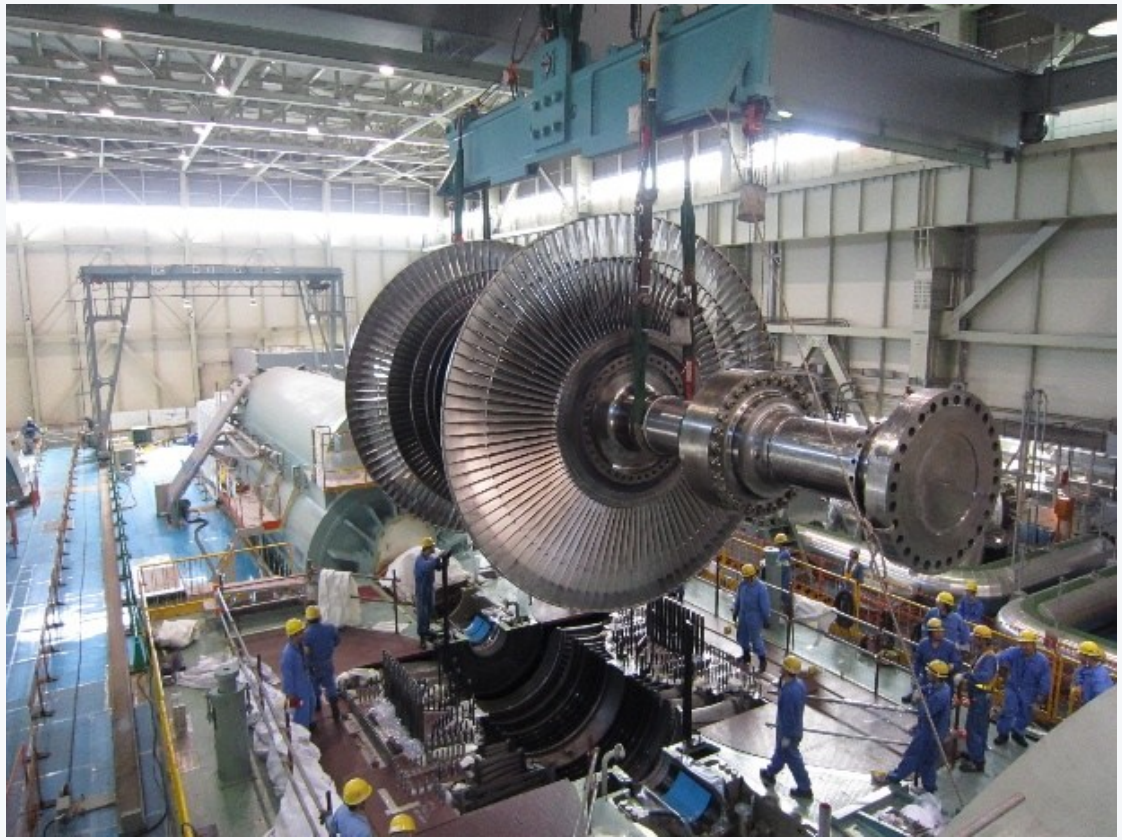
事例１：原子炉容器上蓋取替え





保修室（機械グループ）が実施した大型工事の実例

事例２：主タービン開放点検





保修室（機械グループ）が実施した大型工事の実例

事例３：原子炉補機冷却海水ポンプ分解点検





なぜ、原子力を選んだのか

1

社会インフラへの貢献

暮らしを支えるエネルギーの
安定供給

2

原子力安全への挑戦

高い安全性を追求する仕事

3

技術者としての成長

幅広い知識と経験を身につけら
れる環境

社会を支え、自身の能力を高められる仕事をしたかった

4　原子力を次の世代へつなぐ

未来のエネルギーを考える上で、原子力にしか果たせない役割がある。

一般論を語るだけでなく、設備保全に携わる自分が何を積み重ねるか

未来のエネルギー課題

- 増え続ける電力需要
- 脱炭素への対応
- 海外情勢に左右される供給

原子力に期待される役割

- **安定供給**　必要な電力を安定して支える
- **脱炭素**　発電時のCO_2排出を抑える
- **技術・人材**　蓄積した知見を次の世代へ

言われている価値

私が現場で積み重ねること

では、自分は何をするか

- **安定供給**
  - 設備を確実に守る
  - 現場を見て、兆候を見逃さず、保全の質を高める
- **技術・人材**
  - 判断の根拠、現場の知見を次へ残す
  - 結論だけでなく、判断の根拠を記録し、共有する

私も原子力に携わる一人として、原子力の価値を次の世代へつないでいきます。

ご清聴ありがとうございました

